



—東北生産性本部—

第55回通常会員総会の開催



＜平成24年5月25日、第55回通常会員総会＞



＜新会長 齋藤茂雄＞



＜新専務理事 山岸利廣＞

5月25日（金）13時半より、仙台商工会議所7階大会議室に於いて、賛助会員の皆さま47名が出席し、第55回通常会員総会を開催した。

本総会では平成23年度事業報告・決算報告、平成24年度事業計画・予算、更には退会に関する事項、役員の数に関する事項の規約改正、会長・専務理事・監事の補欠選出が主な議案であった。

青木会長が勇退し、新会長には東北電力常勤顧問の齋藤茂雄氏が就任した。また、専務理事は事務局体制の強化という観点から、齋藤前専務理事が常務理事に就任し、新たに東北リコー顧問の山岸利廣氏が就任した。

また、平成24年度予算審議においては、今後の厳しい財政状況を踏まえた本質的な論議を頂くなど、会員の皆さまと共通認識を深めることが出来た。

総会終了後、特別講演会開催



<生産性とは生産効率と共生のバランス、日本生産性本部参事 北浦正行氏>

5月25日(金)第55回通常会員総会終了後、1時間20分程度に亘って、恒例となっている特別講演会(67名参加)を開催した。今回は、生産性の原点に戻って、日本生産性本部参事の北浦正行氏を講師に迎えて、『わが国の生産性の実態と課題』をテーマに生産性を巡る諸課題について、論理的な側面だけではなく、現実的な側面も考慮しながら、マクロの視点とミクロの視点から、そこにある本質的な課題を踏まえて、一人ひとりどう対応すべきか、示唆に富んだ講演であった。また、今日において生産性向上を果たすには、従来の生産性3原則に加えて、女性がキーポイントであること、更にはコミュニケーションの大切さや身近に感ずるようになってきたメンタルヘルス対策が重要な要素であることを認識させられた講演であった。

第一義 ~イングリッシュ・ソングから演歌まで~

平成22年4月26日に着任以来、早いもので3回目の総会を経過した。最初の第53回総会は、着任してから1ヶ月程度で、当本部の状況が良く分からないまま迎えた。二回目の第54回総会は、特別講演の講師である水野和夫氏を被災地に案内するため止む無く欠席した。今回、漸く総会に参加できた。総会には当本部の顧問である東北大学の里見総長の出席を賜り総会に華を添えて頂いた。また、確信を突いた質問もあり、希望とする本質論議が出来た。受けるには少し痛いですが、直球でこそ、共通認識が醸成されると思う。★二年間共にした青木前会長が勇退された。任期を1年残り惜しまれての退任であった。前会長は遠くで見ていると理の人に見えるが、近くで接すると情の深い人であり、前会長の掌の上で仕事をさせて頂いたように感ずる。健康には十分留意されて、いつまでもわれわれ後輩に青木節を聞かせて欲しい。イングリッシュ・ソングから演歌までカラオケの選曲も幅広いが、人間性も歌の通りであった。(記S・S)